めぐみの子

12 月 号

２０２６年１１月２５日
深川めぐみ幼稚園
幼稚園ウェブサイ https://www.fukagawamegumikg.net
メールアドレス fukagawamegumi@yahoo.co.jp



永遠の愛のドラマ

園長　白井　真樹

今年も、もうすぐクリスマスです。子どもたち、そして保護者のみなさんとともにクリスマスをお祝いできることを、心から感謝いたします。クリスマスは、神の御子イエス・キリストのお誕生をお祝いする日です。その意味については、チャプレンが「12 月のみことば」に書いてくださっていますので、ぜひお読みください。

今年の幼稚園のクリスマス会では、昨年までの降誕劇に替えて「聖劇」を行います。これまでは年長さくら組の子どもたちが演じていましたが、今年からは、ちゅうりっぷ組からさくら組までの子どもたちが全員で出演します。のびのび～のの子どもたちも、無理なく準備を楽しめる場合は参加します。どの役も大切な役です。みんなが主演です。また今年から、イエス・キリストがお生まれになった場面に加え、神様が世界をお創りになった「天地創造」の場面も上演します。

神様は世界をすばらしいものとしてお創りになり、その中でも私たち人間を特別に愛してくださいました。しかし私たちは、神様がお創りになった世界や隣人を大切にせず、自分勝手に過ごし、自分自身をも傷つけて生きてきました。それでも神様は、私たちを見捨てることはありません。私たちがもう一度、神様と隣人を愛し、神様がお創りになった世界と自分自身を大切にして生きていけるように、神様の大切な独り子である救い主イエスさまを、この世界にお遣わしになりました。この「神様の永遠の愛のドラマ」を、子どもたちが演じる姿を通してお伝えできればと願っています。子どもたちは毎日、楽しみながら準備をしています。保護者のみなさんにも、ぜひ楽しみにしていただければと思います。

どんなことがあっても、神様はあなたを見捨てない。神様はあなたをずっと愛している。そんなメッセージが、子どもたちの心にも届くことを願っています。

＋＋

１２月の聖書のみことば　ルカによる福音書２章１１節

「あなたがたのために救い主がお生まれになった」

チャプレン（牧師）西川 真人

クリスマスが近づいてきました。子どもたちにとってクリスマスは、プレゼントをもらったり、家族で楽しいひとときを過ごしたりする、心待ちにしている季節でしょう。では、そもそもクリスマスとは、何を喜び、お祝いする日なのでしょうか。

今から約二千年前、イエス様がお生まれになった夜、野原で羊の番をしていた貧しい羊飼いたちのところに天使が現れ、「あなたがたのために救い主がお生まれになった」と告げました。

この言葉の中で、特に大切にしたいのは「あなたがたのために」という言葉です。イエス様の誕生は、決して一部の特別な人たちのための出来事ではなく、私たち一人ひとりのための出来事なのだと、聖書は伝えています。

子どもが生まれたときのことを思い出してみてください。生まれたばかりの赤ちゃんは、まだ何かができるわけでも、誰かの役に立つわけでもありません。それでも、その子が生まれてきてくれたこと、その命がそこにあること自体が、大きな喜びなのではないでしょうか。

神様もまた、私たち一人ひとりを、そのように愛してくださっています。何かができるから、立派な人間だから愛してくださるのではありません。弱さを抱え、失敗することもある私たちを、神様は無条件に、かけがえのない存在として愛してくださるのです。その愛があることを私たちに知らせ、私たちの間にその愛を実現させるために、イエス様はお生まれになりました。

子育ての中では、子どもの成長に喜びを感じる一方で、不安を抱いたり、自分自身の力不足を感じたりすることもあるでしょう。そんな私たちにも、「あなたのために」というクリスマスの知らせは届けられています。子どもたちだけでなく、子育てに励むお父さん、お母さんもまた、神様に愛されている大切な存在なのです。クリスマスは、私たちが神様から愛されていることを喜ぶ日です。その喜びを子どもたちと分かち合いながら、神様が私たちの心を温めてくださるクリスマスを迎えたいと思います。

